

# I 調査結果の概要

# 1 生乳生産量と用途別処理量

## (1) 生乳生産量

－ 生乳生産量は0.9%減少 －

生乳生産量は791万413tで、前年に比べ7万1,617t(0.9%)減少した。

図1 生乳生産量の推移(全国)

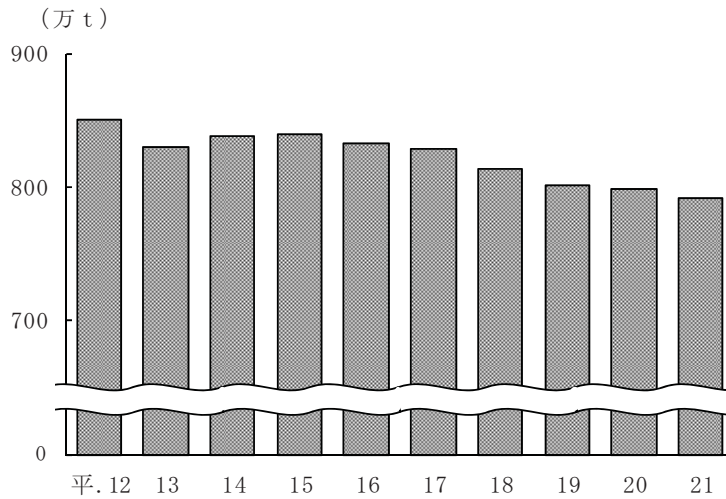
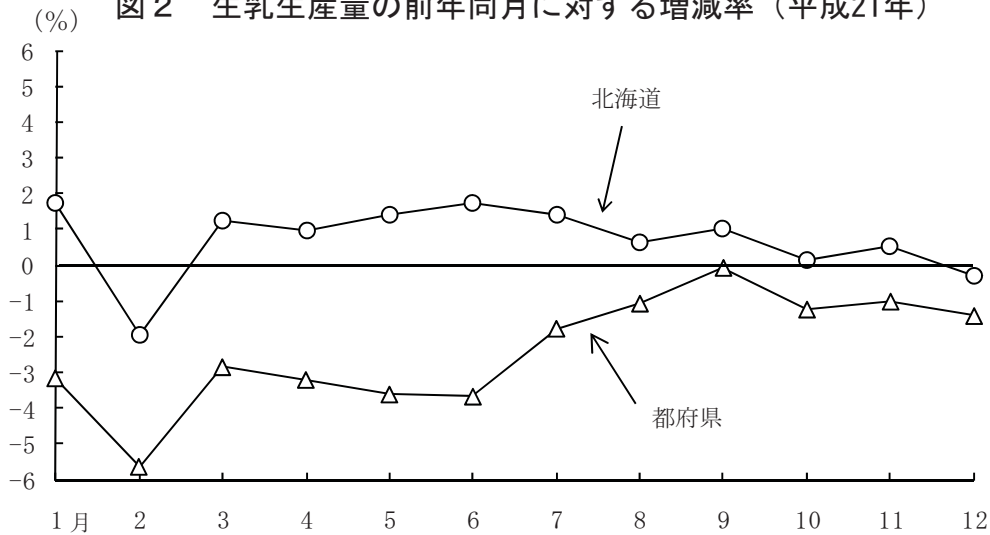


表1 生乳生産量

単位 { 生産量: t  
比率: %

年次	生乳生産量			対前年比		
	全国計	北海道	都府県	全国計	北海道	都府県
平成21年	7 910 413	3 933 712	3 976 701	99.1	100.7	97.5
20年	7 982 030	3 905 285	4 076 745	99.7	102.9	96.8

図2 生乳生産量の前年同月に対する増減率(平成21年)



(2) 全国農業地域別生乳生産量

ー 北海道の生乳生産量シェアは49.7% ー

全国農業地域別の生乳生産量をみると、北海道が393万3,712t(全国に占める割合49.7%)で最も多く、次いで関東が118万7,847t(同15.0%)、九州が70万7,549t(同8.9%)の順となっている。

図3 生乳生産量シェア(全国農業地域別)

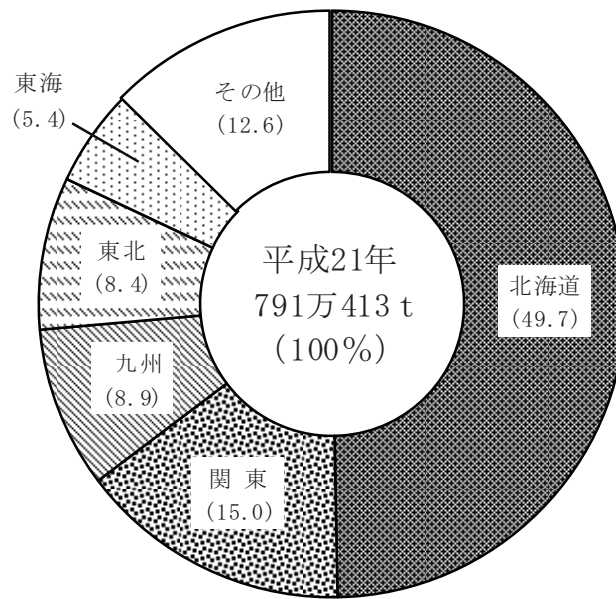


表2 生乳生産量(全国農業地域別)

年次	単位 { 生産量 : t 比率 : %											
	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄	
平成21年	3 933 712	667 779	117 344	1 187 847	141 226	428 080	225 495	322 383	150 248	707 549	28 750	
20年	3 905 285	687 360	122 637	1 203 061	144 525	435 921	234 755	334 378	155 616	728 580	29 912	
対前年比	100.7	97.2	95.7	98.7	97.7	98.2	96.1	96.4	96.6	97.1	96.1	

(3) 全国農業地域別生乳移出入量

ー 北海道の生乳移出入量差は36万3,617t ー

全国農業地域別の生乳移出入量をみると、移入量よりも移出量が多いのは北海道、東北、九州の順に多く、移出量よりも移入量が多いのは関東、近畿、中国の順となっている。

図4 生乳移出入量（全国農業地域別）（平成21年）

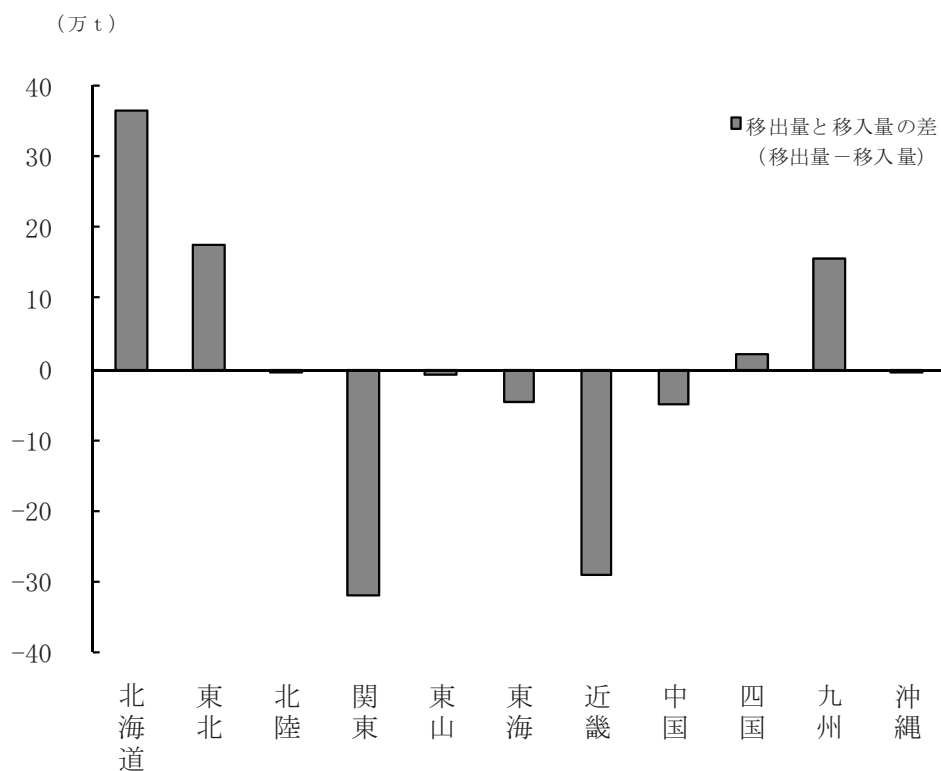


表3 移出量と移入量の差（全国農業地域別）（平成21年）

単位：t											
区分	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
移出量	364 755	317 494	33 106	672 342	42 583	87 454	106 414	80 160	48 356	385 524	34
移入量	1 138	141 254	34 741	992 118	51 751	133 933	397 579	128 942	27 101	228 788	877
移出量－ 移入量	363 617	176 240	△ 1 635	△ 319 776	△ 9 168	△ 46 479	△ 291 165	△ 48 782	21 255	156 736	△ 843

(4) 用途別処理量

－ 牛乳等向け処理量は4.0%減少 －

生乳の用途別処理量をみると、牛乳等向け処理量は426万4,106tで、前年に比べて17万8,455t(4.0%)減少し、乳製品向け処理量は357万453tで、前年に比べて11万2,491t(3.3%)増加した。

図5 生乳用途別処理量の前年同月に対する増減率（全国）（平成21年）

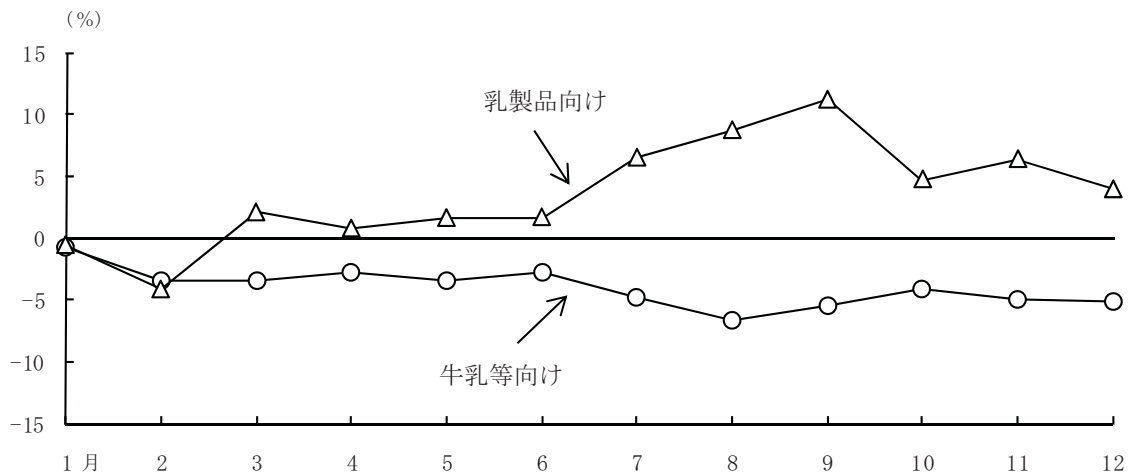


表4 生乳用途別処理量（全国）

年次	生乳生産量	用途別処理量				
		牛乳等向け	乳製品向け		その他向け	欠減
			業務用向け			
平成21年	7 910 413	4 264 106	336 403	3 570 453	75 854	18 472
20年	7 982 030	4 442 561	335 676	3 457 962	81 507	20 677
対前年比	99.1	96.0	100.2	103.3	93.1	89.3

単位 { 生産量、処理量 : t  
比 率 : %

## 2 牛乳等生産量

### (1) 飲用牛乳等生産量

— 牛乳生産量は9.4%減少 —

飲用牛乳等の生産量をみると、牛乳生産量は317万9,987k1で、前年に比べ32万8,981k1(9.4%)減少し、加工乳・成分調整牛乳生産量は62万4,500k1で、前年に比べ18万2,884k1(41.4%)増加した。

図6 飲用牛乳等生産量の前年同月に対する増減率(全国)(平成21年)

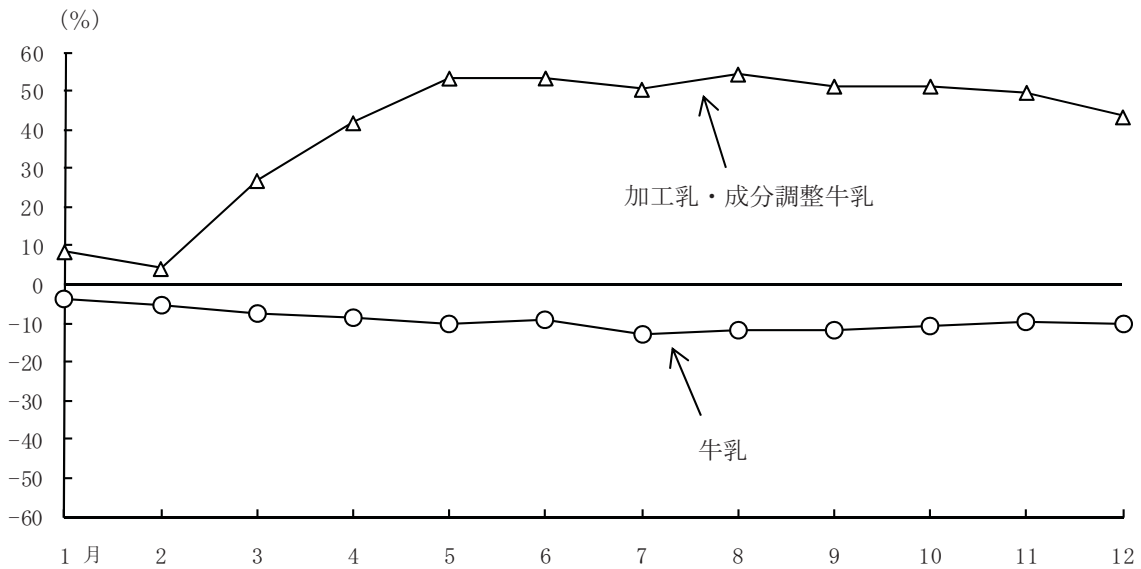


表5 飲用牛乳等生産量(全国)

単位 { 生産量 : k1  
比率 : %

年次	飲用牛乳等					
	計	牛乳	業務用	加工乳・成分調整牛乳	業務用	成分調整牛乳
平成21年	3 804 487	3 179 987	311 700	624 500	13 555	421 921
20年	3 950 584	3 508 968	317 101	441 616	19 181	241 842
対前年比	96.3	90.6	98.3	141.4	70.7	174.5

(2) 全国農業地域別飲用牛乳等生産量

ー 関東の飲用牛乳等生産量シェアは30.7% ー

全国農業地域別の飲用牛乳等生産量をみると、関東が116万7,771k1(全国に占める割合30.7%)で最も多く、次いで北海道が47万158k1(同12.4%)、近畿が45万9,249k1(同12.1%)の順となっている。

図7 飲用牛乳等生産量シェア(全国農業地域別)

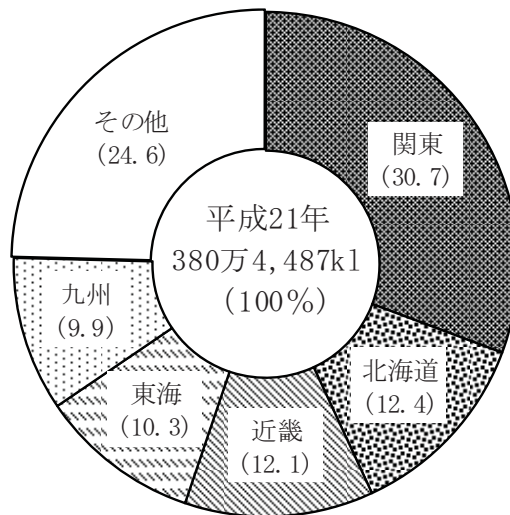


表6 飲用牛乳等生産量(全国農業地域別)

年次	単位 { 生産量 : k1 比率 : %											
	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄	
平成21年	470 158	285 958	107 103	1 167 771	132 672	393 699	459 249	277 609	99 987	377 047	33 234	
20年	516 211	297 430	108 839	1 228 237	139 090	401 114	466 399	287 633	108 527	363 494	33 610	
対前年比	91.1	96.1	98.4	95.1	95.4	98.2	98.5	96.5	92.1	103.7	98.9	

### (3) 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量

#### － 乳飲料生産量は5.0%減少 －

乳飲料の生産量は117万9,669k1で、前年に比べ6万1,694k1(5.0%)減少し、はっ酵乳の生産量は82万1,389k1、乳酸菌飲料の生産量は19万8,640k1で、前年に比べそれぞれ7,985k1(1.0%)、1万9,790k1(11.1%)増加した。

図8 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量の推移（全国）

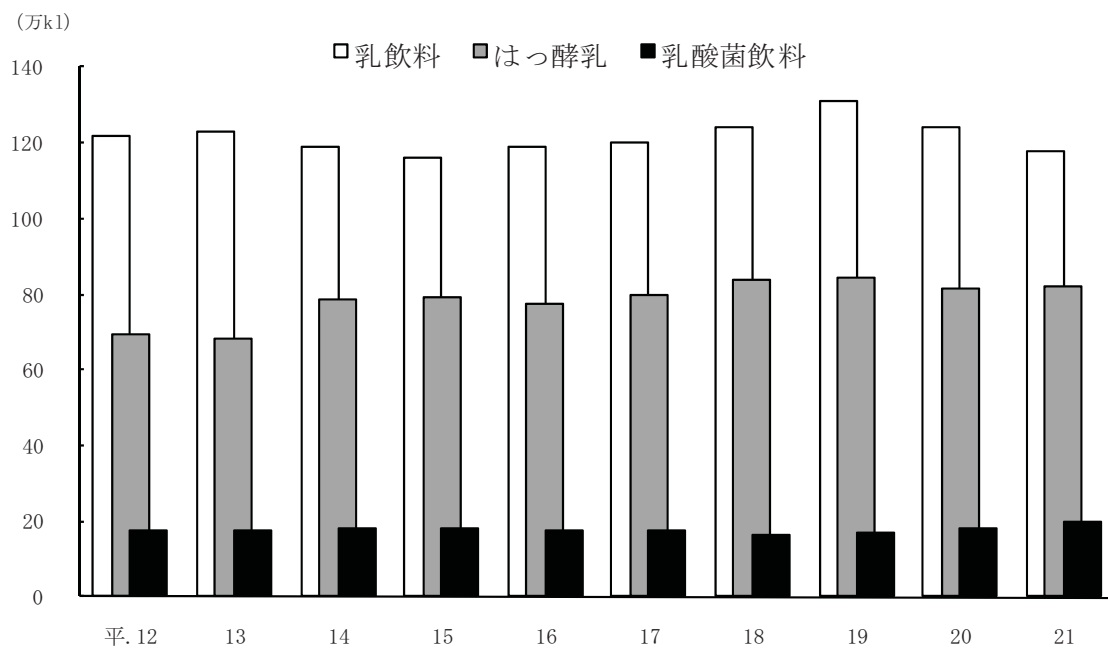


表7 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量（全国）

年次	単位		
	生産量: k1	比率: %	
	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
平成21年	1 179 669	821 389	198 640
20年	1 241 363	813 404	178 850
対前年比	95.0	101.0	111.1



### 3 乳製品生産量

#### － 脱脂粉乳、チーズ及びバターは増加、クリームは減少 －

主な乳製品の生産量をみると、脱脂粉乳は16万7,256 t、チーズは12万2,129 t、バターは8万998 tで、前年に比べそれぞれ9,077 t (5.7%)、3,782 t (3.2%)、9,300 t (13.0%)増加した。

一方、クリームは10万4,898 tで、前年に比べ2,637 t (2.5%)減少した。

図9 主要乳製品の生産量（全国）

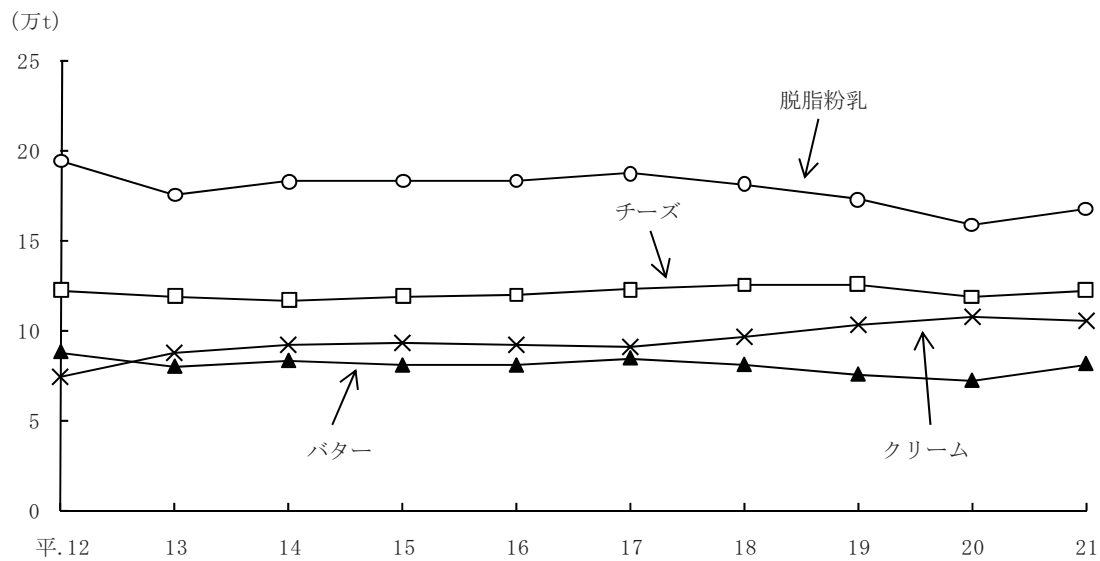


表8 乳製品生産量（全国）

単位 { 生産量：t  
比率：%

年次	全粉乳	脱脂粉乳	調整粉乳	バター	クリーム
平成21年	12 565	167 256	34 914	80 998	104 898
20年	13 543	158 179	30 197	71 698	107 535
対前年比	92.8	105.7	115.6	113.0	97.5

年次	チーズ	直接消費用 ナチュラルチーズ	加糖れん乳	無糖れん乳	脱脂加糖 れん乳	アイス クリーム
						kl
平成21年	122 129	19 506	39 203	943	5 307	128 614
20年	118 347	20 649	36 956	1 016	6 094	126 179
対前年比	103.2	94.5	106.1	92.8	87.1	101.9

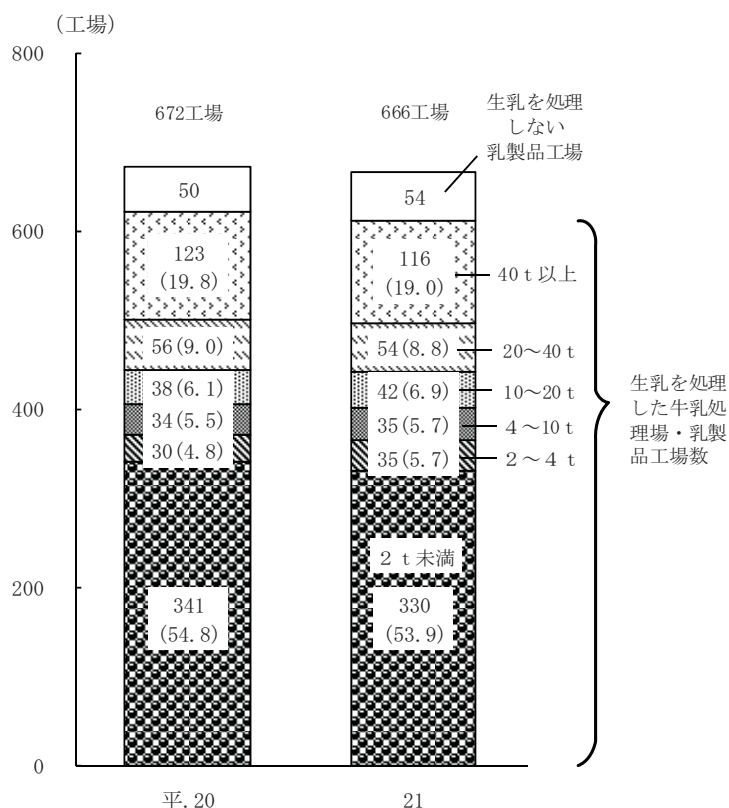
#### 4 牛乳処理場及び乳製品工場数

##### (1) 処理場・工場数

— 生乳を処理した牛乳処理場・乳製品工場数は612工場 —

平成21年12月の1日当たり生乳処理量規模別の牛乳処理場・乳製品工場数（12月31日現在）をみると、2t未満の牛乳処理場・乳製品工場が330工場で最も多く（生乳を処理した工場数に占める割合53.9%）、次いで40t以上が116工場（同19.0%）となっている。

図10 12月の1日当たり生乳処理量規模別の牛乳処理場・乳製品工場数（全国）（12月31日現在）



注：1 （ ）内は、生乳を処理した牛乳処理場・乳製品工場数を100とした生乳処理量規模別の牛乳処理場・乳製品工場数割合  
 2 平成20年は、調査対象678工場のうち調査票の回収ができた672工場についての調査結果である（以下各表について同じ。）。

表9 牛乳処理場・乳製品工場数（全国）

単位：工場

年次	計	経営組織別			12月の生乳処理量規模（1日当たり）							生乳を処理しない乳製品工場
		会社	農業協同組合	個人その他	2t未満	2~4	4~10	10~20	20~40	40t以上		
平成21年	666	466	49	151	330	35	35	42	54	116	54	
20年	672	467	51	154	341	30	34	38	56	123	50	

(2) 全国農業地域別処理場・工場数

ー 関東の処理場・工場シェアは18.9% ー

全国農業地域別の処理場・工場数をみると、関東が126工場(全国に占める割合18.9%)で最も多く、次いで北海道が114工場(同17.1%)、東北が76工場(同11.4%)の順となっている。

図11 処理場・工場シェア（全国農業地域別）

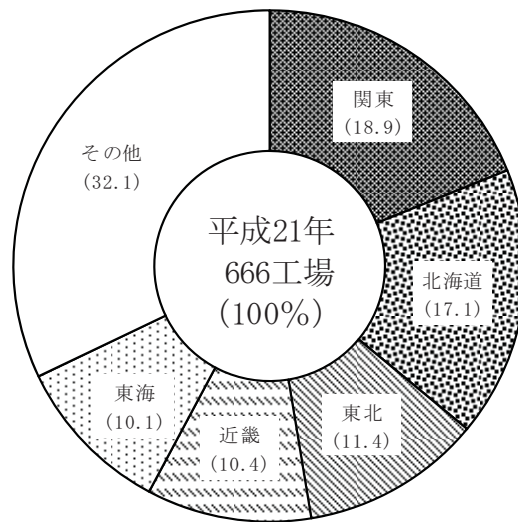


表10 処理場・工場数（全国農業地域別）

単位：工場

年次	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
平成21年	114	76	52	126	33	67	69	49	12	57	11
20年	115	82	53	123	33	67	69	48	13	58	11

(3) 製造品目別処理場・工場数

一 牛乳を製造した工場は484工場 一

平成21年1月から12月に牛乳乳製品を製造した牛乳処理場・乳製品工場数（12月31日現在）をみると、牛乳を製造した工場数が484工場、乳製品を製造した工場数が297工場である。

表11 飲用牛乳等、乳飲料及び乳製品を製造した工場数（全国）（12月31日現在）

単位：工場

年次	飲用牛乳等							乳飲料	
	計	牛乳	業務用		学校給食用	加工乳・ 成分調整牛乳	業務用		成分調整牛乳
			業務用	学校給食用					
平成21年	485	484	169	238	164	10	68	279	
20年	499	497	181	249	165	12	63	285	

年次	乳製品											
	計	粉乳			バター	クリーム	チーズ	れん乳				乳脂肪分8% 以上のアイス クリーム
		全粉乳	脱脂粉乳	調整粉乳				加糖れん乳	無糖れん乳	脱脂加糖 れん乳		
平成21年	297	16	34	6	71	90	137	118	25	7	13	116
20年	298	17	35	5	72	87	132	114	27	8	13	126

注： 内訳は各製品を製造した工場数であり、内訳と合計は一致しない。